

日本女子大学大学院文学研究科
英文学専攻平成 20 年度開講科目

—博士課程前期—

近代英文学講義 I-1 前期 2 単位 佐藤 達郎

【授業目的・内容】

イギリス・ルネサンス研究。Shakespeare, *The Rape of Lucrece* を精読するとともに、第一次・二次資料の取り扱い方について検討する。

【成績評価の方法】

平常点。

近代英文学講義 I-2 後期 2 単位 佐藤 達郎

【授業目的・内容】

イギリス・ルネサンス研究。Shakespeare, *The Rape of Lucrece* を精読するとともに、第一次・二次資料の取り扱い方について検討する。

【成績評価の方法】

平常点。

近代英文学演習-1 前期 2 単位 新見 肇子

【授業目的・内容】

アイルランドの詩人 W. B. Yeats の多岐にわたる作品を精読し、合わせて代表的な批評を読むことにより、詩人の特質を把握する。特にアイルランドの神話、民話に対する関心と歴史観、独立運動をめぐる政治姿勢、モード・ゴンを初めとする女性たちとの関係とジェンダー観、絵画やオカルトなど多様な興味に見られる芸術・文学観などを理解する。

【授業計画】

- | | |
|------------|---|
| 第 1 回 | 序 |
| 第 2 回 | 文献について |
| 第 3 回～13 回 | 初期・中期の詩集から代表的な詩を読む。
レポーターとコメンテーターによる発表による。 |
| 第 14 回 | 総括／前期レポートについて |

【成績評価の方法】

クラスでの発表とレポートおよび出席率を合わせて評価する。

【使用テキスト・参考書】

使用テキスト

The Yeats Reader: A Portable Compendium of Poetry, Drama, and Prose,
edited by Richard J. Finneran (Scribner)

参考文献

クラスで適宜紹介する。

【その他(受講生への要望など)】

クラスで取り上げない作品も読んでほしい。各自の関心に従って、先行研究も積極的に読み、Yeats 理解を深めてほしい。

近代英文学演習-2 後期 2 単位 新見 肇子

【授業目的・内容】

1 に同じ。

【授業計画】

- | | |
|-------------|---|
| 第 1 回 | 序 |
| 第 2 回～5 回 | 後期の詩集から代表的作品を精読する。 |
| 第 6 回～9 回 | 代表的劇作品を精読する。 |
| 第 10 回～13 回 | 代表的評論・随筆を読む |
| 第 14 回 | 総括／後期レポートについて
レポーターとコメンテーターによる発表形式による。 |

【成績評価の方法】

クラスでの発表とレポートおよび出席率を合わせて評価する。

【使用テキスト・参考書】

テキスト

The Yeats Reader: A Portable Compendium of Poetry, Drama, and Prose,
edited by Richard J. Finneran (Scribner)

参考文献

クラスで適宜紹介する。

【その他(受講生への要望など)】

19 世紀末から 20 世紀前半にかけての 아일랜드 とイギリスの関係、ヨーロッパ(特にフランス、イタリア)における芸術運動、世界大戦など、Yeats が生きた時代状況を視野にいれ、彼の多面的な活動にも目を向けてほしい。

現代英米文学演習-1 前期 2 単位 濱野 成生

【授業目的・内容】

ハーシーの「ヒロシマ」を通じて、戦争がどのように描かれたのか。その状況、思想、主張の日米比較を試みる。また映像文学における戦争も考えたい。

【授業計画】

まず研究発表の分担を決め、日取りとの進行状況を考える。

【成績評価の方法】

英語小論文にて。

【使用テキスト・参考書】

追って指示する。

【その他(受講生への要望など)】

予習の徹底。

現代英米文学演習-2 後期 2 単位 濱野 成生

【授業目的・内容】

前期に引き続き、日米映像文学における戦争の問題意識を検証する。

【授業計画】

追って指示する。

【成績評価の方法】

①レポート

②期末試験

【使用テキスト・参考書】

前期と同じ。

【その他（受講生への要望など）】

特になし。

米文学演習-1 前期 2 単位 大場 昌子

【授業目的・内容】

戦後に活躍したユダヤ系アメリカ人作家 Saul Bellow (1915–2005) の長編第一作 *Dangling Man* (1944) を読む。背景としてのユダヤ文化、当時のアメリカ社会の状況などを把握しながら作品を精読し、並行して代表的な批評をできるだけ数多く読み、包括的な研究を行いたい。

【授業計画】

毎回、分担した箇所について各自発表していただき、それについて全員で意見交換を行っていく。

【成績評価の方法】

学期末に作品についてのレポートを書いていただく。

【使用テキスト・参考書】

Saul Bellow, *Dangling Man*.

【その他（受講生への要望など）】

まずは正確に text を理解し、その上で幅広い問題意識をもって text を分析する姿勢を養っていただきたい。

米文学演習-2 後期 2 単位 大場 昌子

【授業目的・内容】

後期は、アフリカ系アメリカ人作家 Toni Morrison の長編 *Song of Solomon* (1977) を読む。背景としてのアフリカ系アメリカ人の歴史と文化を把握しながら作品を精読し、並行して代表的な批評をできるだけ数多く読み、包括的な研究を行いたい。

【授業計画】

毎回、分担した箇所について各自発表していただき、それについて全員で意見交換を行っていく。

【成績評価の方法】

学期末に作品についてのレポートを書いていただく。

【使用テキスト・参考書】

Toni Morrison, *Song of Solomon*.

【その他（受講生への要望など）】

まずは正確に **text** を理解し、その上で幅広い問題意識をもって **text** を分析する姿勢を養っていただきたい。

英語学講義-1

前期

2単位

松森 晶子

【授業目的・内容】

日本語学・英語学を専攻の学生で音韻分析の初心者を対象にして、諸言語の音声・音韻、特にプロソディー現象（アクセント、イントネーション等）について考察する際に必要な、音韻論の基本的考え方と分析方法について解説する。音やアクセントの規則性や体系をどのように発見していくか、といった方法を身につけることが前期の到達目標である。

【授業計画】

学生がそれぞれ割り当てられたテキストの部分について発表し、その内容に基づいて議論することによって授業を進める。それと平行して、諸言語の音声の記述資料をもとに、学生が各自で分析をするという課題を課し、音韻分析の方法が確実に身につくように指導する。

【成績評価の方法】

発表の準備状況、課題レポート（2～3回）、期末レポート[使用テキスト]テキストについてはいくつか候補があるので、最初の授業で学生と相談しながら（その関心とレベルに合わせて）決定する。

【その他（受講生への要望など）】

予備知識は特に必要としないが、調音音声学の基礎知識（学部レベルで可）があると望ましい。

英語学講義-2

後期

2単位

松森 晶子

【授業目的・内容】

後期は特に、日本語と英語のプロソディー現象（アクセント、イントネーション、リズム、音節、モーラなど）に的を絞り、その諸問題について考える。特にアクセントは、共時、通時の両面において、さまざまなテーマを提供してくれる興味の尽きない現象と言える。時間が許せば、方言間によるアクセントの型の対応を細かく記述・比較することから確立していった日本語アクセントの通時的な考察方法についての基礎的知識を得ることも目標とする。

【授業計画】

日本語と英語のイントネーション、アクセント、音節構造に関する諸論文を読みながら、両者の共通性と違いについて考察を深めるとともに、その分析方法について考える。今年度は、両者を比較することによって成された論考を多く選択

する。前期と同じく、学生の発表、およびその内容に基づく討論によって進めたい。

【成績評価の方法】

発表の準備状況、期末レポート

【使用テキスト・参考書】

イントネーション、アクセント関係の諸論文、概説書からの抜粋をテキストとして使用。(論文は後期の授業で配布)

英語学演習-1

前期

2 単位

藤井 洋子

【授業目的・内容】

異文化で異なるコミュニケーションのあり方を、トランス・ディシプリンな視野から解明していく。まずは、談話分析、会話分析、語用論、人類言語学などの考え方を基礎知識とし、生のデータが語る会話やインターアクションの本質に迫る。

【授業計画】

院生による発表を軸に、ディスカッションを行いながら授業を進めていく。

【成績評価の方法】

授業への参加度、期末のペーパー

【使用テキスト・参考書】

Jaworski, Adam and N. Coupland (eds). 1999. The discourse reader. Routledge.
ほか、抜粋論文。

英語学演習-2

後期

2 単位

藤井 洋子

【授業目的・内容】

テーマは前期と同様。個人個人のデータ分析を進めながら、問題解決に必要な方法論や考え方を

をディスカッションを通して明らかにする。

【授業計画】

院生による発表を軸に、ディスカッションを行いながら授業を進めていく。

【成績評価の方法】

授業への参加度、期末のペーパー

【使用テキスト・参考書】

各ジャーナルからの抜粋論文。文化論など。

アメリカ文化講義-1

前期

2 単位

島田 法子

【授業目的・内容】

前期は多文化時代のアメリカで揺れ動く人種、エスニック・グループ間の境界の問題を扱う。テキストとして、Charles A. Gallagher, *Rethinking the Color Line* (2007) と Mia Tuan, *Forever Foreigners or Honorary Whites?* (1998) を取り上げるが、その他の関連する論文を加えて読む。人種間関係やエスニック・グループ間関係

を軸として、現代アメリカ社会が抱える諸問題について学ぶ。さらに枠を広げて、各自が関心のあるテーマに関する論文を取り上げる予定である。各自が関連テーマを自由に選択し、研究を進めてレポートを作成する。

【授業計画】

毎週論文と資料、あるいは著作を取り上げ、分析的に読み、批判評価を試みる。学生は担当箇所に関するハンドアウトを作成し、クラスで配布する。活発な意見の表明が望まれる。

期末には、歴史、文化、文学、社会等の広い範囲から各自の研究テーマを選び、レポートを書くとともに、クラスで口頭発表も行う。

【成績評価の方法】

授業参加 50%、レポート 50% (日本語で 10,000～12,000 字)

【使用テキスト・参考書】

Gallagher, Charles A. *Rethinking the Color Line*. 3rd ed. McGraw Hill, 2007.

Tuan, Mia. *Forever Foreigners or Honorary Whites: The Asian Ethnic Experience Today*. Rutgers University Press, 1998.

【その他 (受講生への要望など)】

特になし

アメリカ文化講義-2

後期

2 単位

島田 法子

【授業目的・内容】

後期は、人種、エスニシティだけでなく、階級、ジェンダー、セクシュアリティを含めて、差別について考察する。テキストとして Rosenblum, Karen E. and Noni-Michelle C. Travis, *The Meaning of Difference* を中心に扱うが、その他の関連する論文を加えて読む。人種、エスニシティ、階級、ジェンダー、セクシュアリティという概念や、それぞれのグループに関する論文を読み進める。さらに枠を広げて、各自が関心のあるテーマに関する論文を取り上げる予定である。

期末には、各自が関連テーマを自由に選択し、研究を進めてレポートを作成する。

【授業計画】

毎週論文と資料、あるいは著作を取り上げ、分析的に読み、批判評価を試みる。活発な意見の表明が望まれる。歴史、文化、文学、社会等の広い範囲から各自の研究テーマを選び、レポートを書くとともに、クラスで口頭発表も行う。

【成績評価の方法】

授業参加 50%、前期・後期レポート 50% (日本語で 10,000～12,000 字)

【使用テキスト・参考書】

Rosenblum, Karen E. and Noni-Michelle C. Travis, *The Meaning of Difference*. 4th ed. 2006.

【その他 (受講生への要望など)】

特になし

英語論文作成法・上級-1 前期 2 単位 アン・スレイター

【授業目的・内容】

Summary:

This course focuses on writing the M.A. and Ph.D. thesis.

【授業計画】

Plan:

Students will meet regularly with the instructor to consult on their thesis.

【成績評価の方法】

Methods of Evaluation:

Regular consultation with the instructor and progress on the thesis.

英語論文作成法・上級-2 後期 2 単位 アン・スレイター

【授業目的・内容】

Summary:

This course focuses on writing the M.A. and Ph.D. thesis.

【授業計画】

Plan:

Students will meet regularly with the instructor to consult on their thesis.

【成績評価の方法】

Methods of Evaluation:

Regular consultation with the instructor and progress on the thesis.

英語論文作成法・上級-1 前期 2 単位 ダニエル・ジョン・ガリモア

【授業目的・内容】

The purpose of this course is to help students develop their academic writing skills prior to submission of their thesis for the postgraduate degree courses. Advice is offered on planning, writing and formatting the thesis, with students making individual appointments as required.

【成績評価の方法】

Students are required to submit their title, abstract and plan for checking before the end of the year and at least 7,500 words of the complete thesis by the second Friday in January.

英語論文作成法・上級-2 後期 2 単位 ダニエル・ジョン・ガリモア

【授業目的・内容】

The purpose of this course is to help students develop their academic writing skills prior to submission of their thesis for the postgraduate degree courses. Advice is offered on planning, writing and formatting the thesis, with students making individual appointments as required.

【成績評価の方法】

Students are required to submit their title, abstract and plan for checking before the end of the year and at least 7,500 words of the complete thesis by the second Friday in January.

英米小説特論 I-1 前期 2 単位 三神 和子

【授業目的・内容】

19 世紀から 20 世紀のイギリス児童文学のさまざまな短篇を時代順に読む。テキストはプリントを配布して使用。

【成績評価の方法】

レポートによる。

英米小説特論 I-2 後期 2 単位 三神 和子

【授業目的・内容】

引き続き 19 世紀から 20 世紀のイギリス児童文学のさまざまな短篇を時代順に読む。テキストはプリントを配布して使用。

【成績評価の方法】

レポートによる。

文学理論特論-1 前期 2 単位 ソーントン不破直子

【授業目的・内容】

1960 年代以降の思想と文学理論の主要論文を読む。前期はリベラル・ヒューマニズムがいかに批判されたかを焦点として、構造主義、ポスト構造主義、新マルクス主義、フェミニズム、ナラトロジーの論文を読む。自分の興味ある作品・トピックをこれらの理論を使って論じたペーパーを書いていただく。

【授業計画】

1. Introduction
2. Ferdinand de Saussure
3. Roland Barthes, "To Write: An Intransitive Verb?"
4. David Lodge
5. Marxism and Neo-Marxism: Marx and Engels
6. —: Althusser
7. —: Balibar and Macherey
8. Simone de Beauvoir; Elaine Showalter
9. Sandra Gilbert and Susan Gubar
10. The Marxist-Feminist Collective
11. Roland Barthes, "The Death of the Author"
12. Jacques Derrida, "Before the Law"
13. M. M. Bakhtin
14. Hayden White

【成績評価の方法】

自分が選んだ思想家、理論家の文献に関する発表と期末のペーパーによる。ペーパーの内容は、このコースで得たことを、修士論文、博士論文のテーマに使ってみることを勧める。

【使用テキスト・参考書】

授業で取り上げるテキストはコピーを配布する。

参考書: Rice and Waugh, *Modern Literary Theory: A Reader*. 4th Ed. London: Arnold, 2001.

ソーントン不破直子『ギリシアの神々とコピーライト——「作者」の変遷、プラトンから IT 革命まで』

文学理論特論-2

後期

2 単位

ソーントン不破直子

【授業目的・内容】

1960 年代以降の思想と文学理論の主要論文を読む。後期は、新歴史主義、ポスト植民地主義のあと、ポストモダニズムと呼ばれる文化全般にわたる変革に関する文献を読む。

【授業計画】

1. Stephen Greenblatt
2. Edward Said
3. Fredric Jameson
4. Ihab Hassan
5. Jean Baudrillard

【成績評価の方法】

自分が選んだ思想家、理論家の文献に関する発表と期末のペーパー。ペーパーの内容は、このコースで得たことを、修士論文、博士論文のテーマに使ってみることを勧める。

【使用テキスト・参考書】

使用テキスト:

Greenblatt, Said の文献はコピーを配布する。ポストモダニズムに関しては、以下の本を使うので、各自で購入しておいてほしい。

Thomas Docherty, *Postmodernism: A Reader*. New York: Harvester Wheatsheaf, 1993.

参考書:

Rice and Waugh, *Modern Literary Theory: A Reader*. 4th Ed. London: Arnold, 2001.

ソーントン不破直子『ギリシアの神々とコピーライト——「作者」の変遷、プラトンから IT 革命まで』

比較文化・言語特論-1 前期 2単位 唐須 教光

【授業目的・内容】

言語人類学の諸問題について演習形式で授業を行う。類人猿と僅か一パーセントしか遺伝子が異なる種としてのヒトがなぜかくも異なる生活を送るようになったかを、言語の使用を通してヒトが何を獲得したかを見ることで考察するのが目的である。ハケットが人間の言語の特徴の一つとした、displacement が現在ではどのように考えられているかなどもテーマの一つです。

【授業計画】

前期は主として、人類学者の刺激的な言語の起源に関するものを読み議論します。まず、種としてのヒトの位置づけから初めて、どのようにしてヒトは言語を獲得したか、ヒトの言語は他の霊長類のコミュニケーションと何が異なるのか、それが何をヒトにもたらしたのかを多角的に考察します。

【成績評価の方法】

平常点による。

【使用テキスト・参考書】

Robbins Burling, The Talking Ape: How Language Evolved. OUP 2005

【その他(受講生への要望など)】

積極的にクラスに貢献するようにしてください。また、労を厭わないで、自らの力で考えるようにしてください。

比較文化・言語特論-2 後期 2単位 唐須 教光

【授業目的・内容】

前期と同一のテーマを追求するが、後期は主として認知言語学からのアプローチを試みるつもりである。そこで問題となるのは、言語の能力と他の認知能力がいかに関連しているか、また、言語人類学的研究や、認知言語学的研究が一般的な言語理論とどのように関わってくるかも見てゆきたい。

【授業計画】

前期と同じように、各自の分担を発表してもらい、それに基づいて議論をしてゆく。

【成績評価の方法】

平常点。

【使用テキスト・参考書】

前期の終わりに指定する。

【その他(受講生への要望など)】

前期と同じ。

イギリス文化特論-1 前期 2単位 佐藤 和哉

【授業目的・内容】

文化史に関する入門的な研究書を正確に読むことを目的とします。受講者は英文を精読する根気とともに、取り上げられている研究者や作品について積極的に

調べてくれることが求められます。テキストは前年に引き続いて、Peter Burke, *What is Cultural History?* (Cambridge, Polity Press, 2004) を用いるつもりですが、受講者の方がたとも相談したいと思います。毎回担当者を決めて、数ページずつ読んでいきます。また、必要に応じて、受講者によるミニ研究発表を入れるかもしれません。詳細は初回に説明します。

【授業計画】

上記を参照してください。

【成績評価の方法】

授業に対する貢献度と期末のレポートなどから総合的に判断します。

【使用テキスト・参考書】

「授業目的・内容」欄を参考にしてください。

【その他（受講生への要望など）】

文学を研究するうえで、歴史研究の研究史や方法論についての知識は不可欠なものとなってきています。幅広く何でも面白がることのできる人の受講を歓迎します。

イギリス文化特論-2

後期

2 単位

佐藤 和哉

【授業目的・内容】

文化史に関する入門的な研究書を正確に読むことを目的とします。受講者は英文を精読する根気とともに、取り上げられている研究者や作品について積極的に調べてくれることが求められます。テキストは前年に引き続いて、Peter Burke, *What is Cultural History?* (Cambridge, Polity Press, 2004) を用いるつもりですが、受講者の方がたとも相談したいと思います。毎回担当者を決めて、数ページずつ読んでいきます。また、必要に応じて、受講者によるミニ研究発表を入れるかもしれません。詳細は初回に説明します。

【授業計画】

上記を参照してください。

【成績評価の方法】

授業に対する貢献度と期末のレポートなどから総合的に判断します。

【使用テキスト・参考書】

「授業目的・内容」欄を参考にしてください。

【その他（受講生への要望など）】

文学を研究するうえで、歴史研究の研究史や方法論についての知識は不可欠なものとなってきています。幅広く何でも面白がることのできる人の受講を歓迎します。

アメリカ研究特論 I-1

前期

2 単位

白井 洋子

【授業目的・内容】

アメリカ史学史の流れを追いながら、アメリカ社会における自国史像と価値観の変容、あるいは同質的要素について、時代的世界史的背景との関連において考

察する。アメリカ文化、アメリカ社会をして「アメリカ」たらしめてきたものは何かを、歴史的文脈から探りたいと考える。そうした作業を通して、受講者がそれぞれの研究テーマの意義を「再発見・再確認」する場となることを願っている。

【授業計画】

テキストの必要箇所とそれに関連する論文を読み、受講者の研究領域に結びつけた個別発表を中心とする。歴史、社会、文化、思想の領域を行き来する討論が活発に行われることを期待する。

【成績評価の方法】

口頭発表、授業参加、学期末レポートによる総合評価。

【使用テキスト・参考書】

Gerald N. Grob and George Athan Billias, eds., *Interpretations of American History: Patterns and Perspectives, vol. 1* (New York: Free Press, 1987) の必要箇所をプリント配布する。

アメリカ研究特論Ⅰ-2 後期 2 単位 白井 洋子

【授業目的・内容】

アメリカの価値観、アメリカ民主主義を根底に支えているものは何か。人種とジェンダーの問題は、アメリカ帝国論やアメリカ例外主義とどのように交差しているのか。また階級や格差などの経済的側面との関わりはどうか。初の女性大統領かアフリカ系大統領か、イラク戦争、サブプライムローン、石油問題、カトリヌのその後は？ 社会的現象の奥底に流れる本質の問題をどのように捉えたらよいのか。受講者がそれぞれの研究テーマと関連づけながら史資料を読み、率直活発に討論し、知的に刺激し合う、そのような場にできたらと希望する。

【授業計画】

史資料を読み合い、参加者の個別発表と討論を基調とする。

【成績評価の方法】

口頭発表、授業参加、学期末レポートによる総合評価。

【使用テキスト・参考書】

開講時に指示する。なるべく近刊のものをと考えている。

一博士課程後期一

近代英文学特殊研究-1 前期 2 単位 新見 肇子

【授業目的・内容】

個人面談により、研究課題、論文執筆、学会発表などについて話し合い、アドバイスをする。また、18世紀から20世紀にかけてのイギリス文学(特に詩)の作品、批評について議論することにより、問題点を明らかにし、研究の方向性を考える。

【授業計画】

院生の必要に応じて、面接を行う。特に、修士論文については Summary 作成を目指す。

【成績評価の方法】

面接における準備、議論、提出物などを総合的に判断する。

【使用テキスト・参考書】

面接の際に適宜紹介する。

近代英文学特殊研究-2

後期

2 単位

新見 肇子

【授業目的・内容】

「近代英文学特殊研究-1」に同じ。

【授業計画】

「近代英文学特殊研究-1」に同じ。

修士論文に関しては、1 週間前に提出された原稿を添削し、次週面接において修正・加筆の必要性について議論する。

【成績評価の方法】

「近代英文学特殊研究-1」に同じ。

【使用テキスト・参考書】

「近代英文学特殊研究-1」に同じ。

英米文学特殊研究-1

前期

2 単位

新見 肇子

【授業目的・内容】

18 世紀以降のイギリスの詩・散文に関するさまざまなトピックについて議論し、研究方法や論文の書き方（口頭発表を含める）を考える。

【授業計画】

個人面接で行う。面接前にあらかじめ問題点について簡単な梗概を提出すること。

【成績評価の方法】

面接の際の議論、研究内容に関する提出物に基づく。

【使用テキスト・参考書】

受講者の必要に応じて決める。

英米文学特殊研究-2

後期

2 単位

新見 肇子

【授業目的・内容】

「英米文学特殊研究-1」に同じ。

【授業計画】

「英米文学特殊研究-1」に同じ。

【成績評価の方法】

「英米文学特殊研究-1」に同じ。

【使用テキスト・参考書】

「英米文学特殊研究-1」に同じ。

英米文学特殊研究-1 前期 2 単位 濱野 成生

【授業目的・内容】

Abraham Cahan, The Rise of David Levinsky を読む。

【授業計画】

授業の初日に決める。

【成績評価の方法】

英語論文にて

【使用テキスト・参考書】

授業の初回に伝える

【その他（受講生への要望など）】

特になし。

英米文学特殊研究-2 後期 2 単位 濱野 成生

【授業目的・内容】

前期に引き続き時代精神とアメリカ文学の作品論

【授業計画】

初回の授業で決める。

【成績評価の方法】

英語論文提出

【使用テキスト・参考書】

追って指示する。

【その他（受講生への要望など）】

特になし。

英米文学特殊研究-1 前期 2 単位 三神 和子

【授業目的・内容】

児童文学も含めた 19, 20 世紀のイギリスの小説を中心に、学生の興味に応じて取り上げ、考察する。

【成績評価の方法】

レポートによる。

英米文学特殊研究-2 後期 2 単位 三神 和子

【授業目的・内容】

児童文学を含めた 19, 20 世紀のイギリス小説を取り上げ、文化的アプローチの仕方など様々な研究方法を考える。

【成績評価の方法】

レポートによる。

アメリカ文学特殊研究-1 前期 2 単位 ソーントン不破直子

【授業目的・内容】

20 世紀アメリカ小説の研究を、受講生の希望を考慮して行う。

【授業計画】

個人指導となるので、受講生と話し合いで計画を立てる。

【成績評価の方法】

当初の計画を満たしているか、否かによって評価する。

【使用テキスト・参考書】

受講生の必要に応じて指導する。

アメリカ文学特殊研究-2 後期 2 単位 ソーントン不破直子

【授業目的・内容】

20 世紀アメリカ小説の研究を、受講生の希望を考慮して行う。

【授業計画】

個人指導となるので、受講生と話し合いで計画を立てる。

【成績評価の方法】

当初の計画を満たしているか、否かによって評価する。

【使用テキスト・参考書】

受講生の必要に応じて指導する。

アメリカ文学特殊研究-1 前期 2 単位 濱野 成生

【授業目的・内容】

移民文化を論ずる。

【授業計画】

授業の初日に決める。

【成績評価の方法】

プレゼンテーションの内容で決める。

【使用テキスト・参考書】

追って指示する。

【その他（受講生への要望など）】

特になし。

アメリカ文学特殊研究-2 後期 2 単位 濱野 成生

【授業目的・内容】

前期に引き続き、移民文化を論ずる。

【授業計画】

授業の初日に決める。

【成績評価の方法】

プレゼンテーションの内容。

【使用テキスト・参考書】

追って指示する。

【その他（受講生への要望など）】

特になし。

英語学特殊研究-1 前期 2 単位 松森 晶子

【授業目的・内容】

言語研究の方法（テーマの設定の仕方、仮説の立て方、結論の導き方、論文の書き方、等）について、それぞれの学生に合わせた個別の研究指導を行う。音声・音韻関係の論文を仕上げることを目的として指導する。

【成績評価の方法】

分担発表の発表と、クラスでの討論への参加・貢献状況、レポートによる。

英語学特殊研究-2 後期 2 単位 松森 晶子

【授業目的・内容】

言語研究の方法（テーマの設定の仕方、仮説の立て方、結論の導き方、論文の書き方、等）について、それぞれの学生に合わせた個別の研究指導を行う。音声・音韻関係の論文を仕上げることを目的として指導する。

【成績評価の方法】

分担発表の発表と、クラスでの討論への参加・貢献状況、レポートによる。

英語学特殊研究-1 前期 2 単位 藤井 洋子

【授業目的・内容】

博士課程後期の学生に対して、論文執筆の指導を行う。特に国際ジャーナルに投稿できるレベルを目標にする。

【成績評価の方法】

個人の研究のレポートにより評価する。

英語学特殊研究-2 後期 2 単位 藤井 洋子

【授業目的・内容】

前期と同様、博士課程後期の学生に対して、論文執筆の指導を行う。特に国際ジャーナルに投稿できるレベルを目標にする。

【成績評価の方法】

個人の研究のレポートにより評価する。

イギリス文化特殊研究-1 前期 2 単位 新見 肇子

【授業目的・内容】

イギリス文化研究に関して、研究テーマの設定や方法論、あるいは先行研究の調査などについて、指導をおこなう。

【授業計画】

受講生の必要に応じて面接を行う。面接前に問題点に関する簡単な概要を提出する。

【成績評価の方法】

面接における議論、提出物を総合的に判断する。

【使用テキスト・参考書】

受講生の必要に応じて適宜紹介する。

イギリス文化特殊研究-2 前期 2 単位 新見 肇子

【授業目的・内容】

「イギリス文化特殊研究-1」に同じ。

【授業計画】

「イギリス文化特殊研究-1」に同じ。

【成績評価の方法】

「イギリス文化特殊研究-1」に同じ。

【使用テキスト・参考書】

「イギリス文化特殊研究-1」に同じ。

アメリカ研究特殊研究-1 前期 2 単位 白井 洋子

【授業目的・内容】

アメリカ研究を専攻する受講者への個別研究指導を行う。

【成績評価の方法】

提出された研究論文に基づく。

アメリカ研究特殊研究-2 後期 2 単位 白井 洋子

【授業目的・内容】

アメリカ研究を専攻する受講者への個別研究指導を行う。

【成績評価の方法】

提出された研究論文に基づく。

アメリカ研究特殊研究-1 前期 2 単位 島田 法子

【授業目的・内容】

アメリカ研究の分野の研究テーマを持つ受講者に対して、個別の研究指導を行う。

【授業計画】

必要に応じてアポイントメントによって、指導する。

【成績評価の方法】

論文の作成過程と論文の内容による。

【使用テキスト・参考書】

なし

【その他（受講生への要望など）】

なし

アメリカ研究特殊研究-2 後期 2単位

島田 法子

【授業目的・内容】

アメリカ研究の分野の研究テーマを持つ受講者に対して、個別の研究指導を行う。

【授業計画】

必要に応じてアポイントメントによって、指導する。

【成績評価の方法】

論文の作成過程と論文の内容による。

【使用テキスト・参考書】

なし

【その他（受講生への要望など）】

なし

平成 19 年度 Veritas 賞受賞論文

該当論文なし

平成 19 年度 島田賞受賞論文

木田あかね The Meaning of Milk in Toni Morrison's *Beloved*

平成 20 年度 修士論文題目

牛山 通子 Christina Rossetti's *Goblin Market* (1862): Texts and Contexts
青木江里花 War and International Adoption in the U.S.: World War II, the Korean War, and the Vietnam War
川副 理美 A Comparative Study of How Characters are Described in Japanese and English: Amalgamation and Separation
工藤 貴恵 A Comparative Study of Topic Construction in English, Japanese, and Korean Conversation
新下 彩子 A Comparative Study of Intonation in Spoken English and Japanese: Some Proposals for Teaching Communicative English to Japanese EFL Learners
鈴木 佳那 The Existence of Others in Saul Bellow's Two Major Novels
温井 恭子 A Comparative Study of *Aizuchi* for Proposals in Japanese and English Task-Based Interaction: Convergence and Divergence
牧野 ユミ Different Perceptions of Naturalization and Citizenship among Japanese in Hawaii: *Ozawa* and *Toyota* vs. *United States*

平成 20 年度 修了論文題目

大芝 香織 *The Lady of May* and Factions of the Elizabethan Court
韓 福美 Teilhard de Chardin in Flannery O'Connor's *Everything That Rises Must Converge*
志水 光子 Black Identity and Social Critique in the Fictions of Eudora Welty
高梨絵梨沙 From Idealism to Reality: Ideas on Children in the Poems of William Blake and Mary Robinson
野村 佑子 Linguistic Resources for Expressivity in English and Japanese Discourse
升井 裕子 John Ruskin's *The King of the Golden River*: In Pursuit of a Society of "Admiration, Hope and Love"

平成 20 年度 博士論文題目

森井 美保 Postmodern Representation of Fact in Joyce Carol Oates's Novels